京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

東拓人物評論(六)

▲宇佐川總裁▼(五) 翠山

或る一部に於け世人が男の人物に對して是非の批評を試むるは要するに男が他に對して圭角なく常に雍容の氣を示し加ふるに襟度淵大天濶うして鳥の飛に任せ海廣うして魚の躍るに任する底(か)の雅量を偏局的に觀察したる結果に外ならざるべきか而して桂侯及び寺内伯其の他の諸先輩が男を信任せし所以のものは要するに此の性質と技倆とに依るべけんも輕躁にして重厚の質を缺き、浮薄にして眞摯の資に乏しき伊藤公が其の自己と正反對なる性質の男を今日に至る迄も信任して渝らざる所以は公が從來の經驗上尤も珍らしきことゝいはざるべからず、思ふに是れ男が唯に他に對して圭角を現はさゞる如く公に對しても亦渾然として圭角を現はさず常に雍容の氣象を以て公に接するが爲めか又公に取つて別に見る所あるか余輩と雖も之が判斷に苦まざるを得ず斯くて男は日韓協約の締結に盡力して伊藤公と共に歸朝するや依然軍政の樞機を總攬し同時に名聲隆々幾多の諸先輩をして後に瞠若せしむるものありたり、而して其の後時勢一轉日韓の關係に變動を來し其結果第二の日韓新協約は締結され韓國が日本の被保護國となるや當時政府當局者にあつては早くも韓國拓殖の急務なるを認め鋭意之が計劃立案に餘念なかりし中機運漸く熟して愈々設立の運びに至るや同時に總裁人選の議起り或る者は小松原氏を推すべしと云ひ或る者は岡部子を選ぶべしといひ又或る者は松崎氏を薦むべしといひ異論紛々、人に依つて各々其の適材を擧げたりしが人爲の大勢は男に定まり、結局男を陸軍部内より拔いて其の地位に就かしめたり、之れ蓋し前項に於て述べたる如く先輩桂侯の勸告にして而も侯は此の役目をば初めより男に演せしむべく豫期し居りしなり、敢て人爲の大勢といふ豈に夫れ不可ならんや。

侯が男を得意の地位より拉去して經驗の無き地位に就かしめたるは繰り返す迄もなく統監伊藤公との關係上其の調和を圖らんが爲めに外ならざるなり、言ふ迄もなく侯は男が伊藤公にも信任厚きを知る而も併せて韓國の事情に精通す東拓總裁としての手腕如何はサテ措き異花嫁の中にして圓滿ならんには届かぬ所は丁寧に懇諭し呉れ、足らぬ所は心切に說得し呉るゝならんと確信せしが爲めなり胡ぞ好んで信任措かざる男が得意と順正の境を去らしめて從來經驗もなき新奇の府に押し込むが如き酷を敢てせんや男又愛に至つて柔順の嫁御前楚々として韓國に來り甲斐〳〵しく其の務に當れり、然るに舅たる伊藤公は更に男の職責に向つて世話の手を下さず、平然として母國の櫻花に憧がれつゝあり而も會社に對する批難惡評の聲は日を追ふて漸く甚しからんとす男亦泣かざるを得んや

文苑

●死● 青楓

悶を抱いて、漢江畔を逍遙ふ。樂土の天國苦しき火熱の現世を去つて、天國果してにつくに若かずと思ひてなり、ア又も苦悶は我が胸を打てり、アありや、何ぞ天國のありとなしどに、我の關せんや、我は唯、現世の苦悶を避け得れば足れるのみ。

去つて鐵橋に上る、見よや、坦々たる江面の美觀、我が半世の汚れたる失敗を洗ふに適せずや。我が死は來れる、さらばよと身を飛ばんとするとき、水未だ冷たし、苦痛却つて多し、止よ水上の死と囁くものあり、我は思ひ惑ひぬ。

遠く長蛇の煤烟を吐いて、疾驅し來るを見る、我は去つて、鐵路上に横はりぬ、轟々たる響の刻々に迫ると同時に、我が運命も亦近けるなり、長蛇は目前に來れり、あはれ、我が身は四散裂せんとする刹那果敢なくも我が夢は破れぬ。

(新刊紹介)

▲東京經濟雜誌(千四百八十五號)重要の記事は桂内閣と社會政策及坪谷氏の風景保護の必要は最も一讀の價値あり(東京彌左衛門經濟雜誌社)

▲朝鮮(第一號)韓國に於ける唯一の經濟的雜誌なり材料豊富記事明快半島經營に從事するもの座右缺く可らざるもの也(大和町二丁目朝鮮社發行)

▲韓國經濟月報(一號)財務彙報の附錄として度支部の發刊に係るもの貿易金融物價を統計的に編纂したるもの參考資料として必要のもの也

▲商標公報(三號)毎月一回統監府特許局より發行するものあり(發賣所日韓書房)

佐倉宗吾

(五十四) 眞龍齋貞水講演

愈よ古川の御下屋敷へ到着したから、百姓一同を御屋敷へ入れます時に這、十五六人の御足輕が氣を注けて居たが、如何したか御門内へ入る時に、辰右衛門が小隱れに一寸かくれた、足輕衆は氣が注かなかつたと見えて、一同を門内へ入れると、ヤイーと門を締めた、そこで辰右衛門が、塀へピッタリ附着いて、御屋敷内の容子を窺つてゐると、暫く經つて 甲「御免 せねよ、それだから云はねえこんちやねえ、大和樣の御言葉だなんて、俺を欺くらかして、此樣な處へ生擒に爲つしやつた、希か赦してくらつせね 乙「ア痛、たゝたッ、うんな事をして俺アれつちんで仕舞うつては、助けてくらつせねよ 丙「罪も科もねえ者を、そんなするつて法があるけえ、サア、殺すなら殺せッ」と云ふ聲が塀の外に溢れた、辰右衛門驚いて「ソレ大變だ、是はア皆な、乙の屋敷で首きられて仕舞うだ、だから云はねえ事でねえ、俺父樣の云つた通りだ、ア、良い日を送つた、何しろ觀音樣の御堂まで駈付け、六人の庄屋衆に、此事を云はなきやなんねえ」と、夫から辰右衛門が、若い一心、宙を飛んでトッ〳〵、淺草觀音の御堂へ來て、六人の名主樣を探して見たが、既う夜明けに近い頃はひで、姿は見えない「事に依ると斬りや、此方の御屋敷に引られて、首でも斬られて仕舞つたのでねえか、それに違へねえ、宿は何處だか分んねえから、尋ねる事もなんねえが、わんでもハアそれに違へなかんべえ、それぢや俺、此處へ等で愚頭〳〵して居た日にや、斯りや打擲かまれて御處刑に成るかも知んねえ、早く郷里へ知らせべえ、迚も死ぬる生命なら、また將門山へ登つて、一揆を起して、佐倉の城を攻めて、印旛沼を睨んで、腹でも切つて、百姓のハア、度胸ッ骨見せてやつべえ、斯りや迂つかりしちや居られねえ」と辰右衛門は狂氣の如くに、一生懸命、國表を指してやつて來る、是が後ち、間違の種子と成るのでございます、此方は川越播摩殿、西の小屋に御住ゐでございますが老人の常、朝夙く御起き遊ばし、嗽口手水を致して、東へ向ひ柏手を打ち、神樣を拜んで居らつしやると、窓下で大きな聲で話をしてゐる 甲「尊公昨夜何處へ往つた、大分ねむさうな眼をして居るな、ム、品川か 乙「馬鹿を云へ 甲「吉原か、それとも田甫ひさへ越して千住か、大千住か、大分もてたと見えるな、尤も年齢は弱いし男ッ振も好いから、御身等いまが女に彼是云はれる最中だ、今ほど宜く行つて置くが宜いせ 乙「戯談を云ふな 甲「馬鹿いへ、確かにそれに違ゐない、眼の據り方がそれでないか 乙「馬鹿な事を云ふな、實は此方は昨夕な、麻布の御下屋敷へ、御駕籠訴に及ばうとした、頭分の百姓を伴れて往つて、空長屋二棟へ抑込んだんだ 甲「ホー 乙「どうも偉いもんだ堀田大和樣ア御若いけれども 甲「ホー、何事が偉い 乙「何事が偉いつて、百姓を欺して、麻布古川の御下屋敷へ連れ込み、前後しめ切つて、之を一人も通さねで、生擒にして仕舞つた、すると百姓が其事を覺つたもんだから、助けてくれねーと云ふ奴があり、組み付いて來る奴がある、どうも力はあるし大勢だから、漸うな事で暴れる奴をふん縛つて、長屋へ放り込み、ちやんと締りを附けて、今引揚げて來たけれども、なか〳〵大騷ぎをした、中には泣く奴がある、殺すなら此處でいま殺せ、なんて騷ぎで、昨夕は微睡さも爲ない、是から前町の[illegible]身体が耐らない 甲「うれちや大和樣が、彼百姓を生擒て仕舞つたか 乙「ム、若いけれども、やはり江戸國かけて一番えらいと評判があるだけに、御殿樣へ理窟でも附けては成らぬと思つて、計略であれだけの者を生擒て仕舞つた、若しあれを尋常に歸す日になれば大變なもんだが大和樣は偉い

京城中學校生徒募集公告

一 第一學年 若干名
一 第二學年 若干名
一 出願期日 四月廿三日
一 入學試驗 四月廿四日、廿五日午前九時ヨリ
一 試驗場 京城居留民團立第二尋常高等小學校

入學志願者ハ(明治四十二年四月七日告示第六號京城中學校學則第十七條ニ依リ四月十日及十一日ノ當地發行ノ各新聞參看)入學願書ニ履歷書ヲ添ヘ京城居留民團役所ニ差出シ受驗心得書ヲ申受クベシ

右公告ス

明治四十二年四月十三日

京城居留民團民長 熊谷賴太郎

軍隊引揚は斷じて不可也

京城新報

近來世人が暴徒に關して注意を拂はざるに至りしは全く鎭定に近づきたる爲乎、否々地方に於ける暴徒の狀況は今尚は猖獗を極めつゝあり、地方在住の邦人にして暴徒の毒牙に罹るもの少しとせず、在留邦人は今尚は地方に於て安全に事業を經營する能はざる狀態なるにも拘らず世人が暴徒を閑却するが如きは[illegible]耳に慣れ目に習れたる爲なり、加之當局者が實狀を公表することの少き爲に世人の注意を喚起せざるにも由るべし、故に實況を知らざるものは韓國の暴徒は既に鎭定せるものゝ如く思へり、[illegible]に於ても斯く思へるもの少なからず、政府の要部に於てさへ駐韓軍隊引揚を主張するものありと聞く、[illegible]帝國の威信は到底保たれざらん、保護政治を[illegible]以て帝國の威信を保全せる軍隊を撤去せんとするが如きは無謀の極なり、保護政治を完成せんと欲すれば軍隊の駐剳は最も須要の事なりとす、[illegible]の小事は忍ばざる可らず、殊に保護政治は今尚は端緒にして[illegible]には前途幾多の歲月を要すべし、此緊要なる時期に於て駐剳軍隊を引揚ぐるが如きは帝國の進運を杜絕するものなり、在留十五萬の同胞が安全を[illegible]せらるゝ爲め[illegible]の當局者間に[illegible]都合も亦極る[illegible]何れにしても軍隊の引揚は斷じて不可也

東京電報

▲統監交迭遷延

統監辭任[illegible]て昨今之が候[illegible]を推しつゝあ[illegible]を引受けざる[illegible]るを好まず之[illegible]

▲安奉線起工方針

滿鐵技師[illegible]し安奉[illegible]は早や終了す[illegible]を見るべし（以上十五日發）

外報一束

●日英同盟廢棄

維也納新聞[illegible]の意あるを[illegible]大々的重要を[illegible]年來外務省專[illegible]れは右の風說[illegible]して獨逸筋に[illegible]ものならん

●韓海漁業交涉

伊集院公[illegible]於ける清國人の[illegible]の電報東[illegible]

●滿洲問題と慶親王

滿洲問題につ[illegible]を訪問して仲[illegible]し慶親王も亦[illegible]傳聞せりされ[illegible]に交涉せられ今[illegible]る觀察せらる

●東淸鐵道買收

[illegible]るところに依[illegible]を露國に公然[illegible]

●徐總督の態度

徐總督は日ならず北[illegible]問題について[illegible]事にも我に抗[illegible]

雜報

●勸農の訓令

[illegible]さきに東籍田を[illegible]されたるが今[illegible]る所を一般人[illegible]んとて十五日[illegible]に向け勸農の[illegible]

●銀行券燒却

第一銀行京城總支店にては昨四十一年五月末新舊券の引換を行ひ順次に舊券を燒却しつゝあるが一昨十四日は丁度二十二回目の燒却日にて規定の如く今村統監府屬及び木村三島兩支配人立會の上燒却掛石黑良聰氏燒却を執行したり同日爐中に投せられ煙と化したる舊券は壹圓にて三十六萬枚外に拾圓券其他若干枚なり改造壹圓券若干枚も同時に爐中に投せられたるが此は印刷不明若しくは記番號に相違ありて流通に適せざるものなり聞くところによれば過去二十二回にて燒却したる舊券の高は拾圓にて二百九十一萬八千百圓、五圓にて三百四萬二千圓、一圓にて二百三十二萬六千百廿三圓、五十錢にて九十九万六千百圓、二十錢にて三十九萬五千七百圓、十錢にて四十九萬二千九百圓外に改造壹圓券二百二十九枚合計一千十三萬三千三百五十二圓なり因に目下市場に殘れる補助小券は五十錢二十錢十錢三種を合せて僅かに一萬六千百圓なりと云ふ

●昨日の定例閣議

昨日は閣議の定例日に付李首相以下各大臣は內閣に參集し京畿道管內漢江沿岸不作地救濟其の他の政務を審議せり

●副統監の帶同謁見

曾禰副統監は昨日午前十時杜國前國務大臣シユーピル氏を帶同し昌德宮に伺候韓皇に謁見正午退出せり

●內部の施療院設置

內部は濟州、金州、咸興の各地に施療院を設置するの計畫にて目下度支部と交涉中の由なるが成案の上は參與官大臣兩會議を經て勅令を以て發布さるゝ筈なりと

●庖肆の主管移屬

庖肆（屠牛所）の主管は從來農商工部なりしが衛生警察上取締の便宜により今後內部主管とし其の免許取締に關する事務は衛生局に於て取扱ふ事とせり尙現行の庖肆規則は徵稅を主として規定され屠畜取締の精神によりて規定したるものに非ずして取扱上不備の點多きを以て今回此れを改正するの議あり當局者に於て目下研究中なりと

●下賜金と京畿道

京畿道にては南韓行幸の際下賜されたる金員の一部は奬學資金として預金し一部は產業奬勵のため韓國中央農會水原支部に下附し一部は商品陳列場の設置費に用ふる事と議し內部の認可を受けたりと

●滿鐵と濠洲の連絡

南滿鐵道は既に東淸鐵道との連絡を了し又上海大連間の連絡も成りたれば此上歐亞交通の大動脈として將來に經營すべきものは第一に濠洲との連絡なるが目下倫敦より濠洲に至る航路は海上約二個月を要するも滿鐵に依り大連より直航するときは倫敦より大連まで十五日間、大連より濠洲まで三十日即ち四十五日間にして到達するを得べくなれば滿鐵は現に大連を經過せる濠洲航路の諸會社即ち日本郵船、東濠洲、北獨逸ロイドの三會社と協定し通し切符を發行することなるべしと

●裁判所開廳準備

法部は將來開廳すべき區裁判所の開廳準備事務の統一を圖る爲標題の會を設け倉富次官委員長となり民、刑兩局長安住、山邊、松寺、松村、土屋の各書記官を委員とし開廳に關する事務は此の會に於て處理する事とせるが因みに本年度に於て開廳さるゝ裁判所は四十箇所の豫定なりと

●漢江沿岸不作救濟

京畿道管內漢江沿岸の不作に關しては內部に於て調査中なるが近々度支部と協議の上統監府の承認を受け相當の救濟方法をなす筈なりと

●邦人の灌漑工事

忠淸南道督城郡夫人面馬九坪の原野に在る小林農場は爾來收支相償はざるの逆境なりしも將來に亘り四万圓の巨資を投じて灌漑の爲め運河を開鑿するの計畫成り不日着手するに至るべしと

●洪州區裁判所開廳

洪州區裁判所は本月廿六日開廳する旨昨日の官報にて告示さる

●衛生試驗課の近狀

本年度より新設され大韓醫院內に置かれたる衛生試驗課の近狀を聞くに左の如し

▲痘苗の製造 痘苗製造は昨年度よりも一層多額に製造する計畫にて二月末より着手し目下盛んに製造しつゝあり

▲狂犬病治療液の製造 本年度より狂犬病治療液の製造研究を開始し目下餘程進捗したる由にて不日治療に使用するに至るべし

▲化學試驗 賣藥及び淸涼飲料其の他の化學的試驗は私人よりの出願又は警察署よりの依託ありて施行しつゝありと

●居留民大會準備會

築港居留民大會準備委員會は豫報の如く一昨日午前一時より民團役所に開かれ種々協議の結果愈々來る十七日午前七時より開會することに決せり而して午後三時より世話役八會を開きたるが出席者は三十五名稻田準備委員長先づ座長席に着き大會に就いての大体を述べ加來榮太郞氏は又築港に關する一場の演說をなしたる後諸種の事項を決議し午後六時解散したり

●敎習巡查の入所式

曩に募集したる日本人巡查の中短期敎習を了へたる以外の二十九名は昨日より警察官練習所に於て敎習を受くる事となり午前十時より鍾谷所長以下列席入所式を擧行し所長より一場の訓示をなせり

●日韓語講習會發會式

昨報度支部日韓語講習會は昨午后四時より發會式を擧行したるが會員は日本人百六十人韓人五十八人合計二百十八人あり佐々木書記官發會の辭を述べ終つて一同茶菓を喫して散會したるが講習は十九日より開始する筈にて講師は陶山、朴兩秘書官韓讓譯官兪書記官、赤松、高岡、徐三主事にして幹事は久芳、吉松兩書記官書記は尾崎主事なり

●排日紙の發賣禁止

桑港在留韓人の經營に係る新韓民報第百二十四號は治安妨害と認められ十五日內部大臣より又々其發賣を禁止されたり

●岡內部次官歸任期

岡內部次官は北村警部輪知主事を隨へ一昨夜八時二十分南大門發列車にて歸任したるが多數の出迎人ありたり

●頭本元貞氏の叙勳

過日京城を去られたる頭本元貞氏は韓國政府より十二日附を以て特に勳三等に叙せられ大極章を賜はりたり

●內部提出諮問

十三日來漢城府に於て開會中の各道會計主任會議に內部より提出したる諮問案は（一）會計法規改正に關する意見如何（二）實施豫算の金額に付算出基礎具体的說明を要す（三）今回歲出經常部科目表（省畧）を左の通り制定せんとす意見如何（四）經費中通信費並に消耗品節約の方法に關する意見如何（五）巡查轉勤の場合に（俸給支給定日後）日割計算法を用ひずして給與通牒を以て整理するの可否如何（六）巡查駐在所の經費を渡切費とし其管區內の旅費を月額支給とするの可否如何（七）交通不便にして郵便局所の設なき地に在る府郡衙又は警察官署に俸給手當舍宅料を限り三ケ月以內の先金出給（日本に於ては前金拂、韓國に在りては先金出給）を爲すの可否如何（消滅）（八）地方費實施に伴ふ準備施設に關する意見如何（九）稅外收入科表（省畧）別紙の通り制定せんとす意見如何（十）年度豫算に對しては如何なる簿冊を備へ如何に之を整理するを便宜とするか意見如何（十一）府郡に物品出納命令官及物品會計官吏を置くの可否如何（可決）（十二）備品整理を爲すには出納簿の外如何なる補助簿を要するか（十三）巡查被服を整理するには出納上如何なる簿冊を便宜とするか具体的の意見如何（十四）物品の類別表（省畧）別紙の通り制定せんとす意見如何（十五）隆熙二年度物品出納計算書作成に關する意見如何（十六）即時消費の物品にして物品出納簿に登記を省略すべき物品の種類如何十六ケ條及び會計上の注意事項數十件なり

●東拓の內情（三）

最も驚くべきは韓國度支部が東洋拓殖會社に對し上述の如き不當の評價を以て土地の出資を許容せしめたるに飽かず度支部次官荒井賢太郞氏が更に驛田屯田の實測町步に依りて其の提供反別を定めんと要求せることも也蓋し驛田屯田が單に其の所在不明なるのみならず

▲實際の反別 も亦甚だ不明確にして表面は町步と稱するもの事實に於て一町五反步乃至二町步に居るもの最も多きは少しく韓國の事情に通する者の何人と雖も熟知せる所也即ち荒井氏の如きは結局既記の不當評價以上更に倍額の評價を以て驛田屯田の提供を許容せしめんとせる者と謂ふべく拓殖會社が僅かに此の要請を斥け得たるは同會社の爲めに甚だ幸福なりしと雖も此の一事以て同會社が如何に度支部の爲めに致されたるかを推測するに足れり凡そ是等

▲會社の不都合 に就ては當時創立委員中逸早く其の不法を指摘し現に特別委員會若しくは創立委員會に於て之れを痛述せる者あり宇佐川總裁以下各委員殊に現重役に於ても固より其の不法を承認し居たるは隱れもなき事實也彼等は實に斯くの如く不法を自認しつゝ去年十二月廿八日大膽にも其の創立總會を開けり知らず此の

▲創立總會 は株主少くとも會社の全資本に對し其の四分一を引受けたる韓國側株主の事實上の拂込みなくして如何にして開會され得たるか獨り東洋拓殖會社が商法違反の行爲を敢てするの特權なき以上何人と雖も怪訝に堪へざる所なるべし見れ將た可也右總會に於て選任せられたる取締役若くは監査役或は檢查役が會社に對し株式總數の引受ありたるや否や各株に付き第一回拂込みの完了され居るや否やを檢することなく檢して所謂驛田屯田出資の有名無實なるを確むることなく天下に向つて其の成立を公告するに至つては殆んど言語同斷と謂はざるべからず創立總會當日創立委員中

▲誠れに言ふ 者あり假令本日創立總會を開くも法律上會社は遂に成立せざるべしと現重役の某々等乃ち匆惶口を緘ひ哀願して曰く君再び言ふ勿れ吾輩も之れを知れりと當時若槻大藏次官が傍らに在つて此の語を聞ける一人なりしは氏が地位に鑑み最も注意に値するを覺ゆ（萬朝報）

●仁川港の出入船舶

一昨日仁川に入港したる船舶は沿岸航路船天草丸一隻出港船は信濃川丸矢崎丸巴丸久滿加多丸の四隻乘船者は男六十三名女二人而して目下の在港船は楊武、櫻井、東照、生玉、龍湖、錦江、安東住の江、飛龍、天草の諸船なり

●善行者褒賞さる

京畿道龍仁郡上東面黑洞居禹東昇は附近の窮民を救恤したる廉に依り昨日付を以て內部大臣より賞狀を授與されたるが右は行賞規定に基く褒賞授與の嚆矢なりと

●憲兵將校の遠乘

來る十八日京城在勤憲兵將校同相當官二十四五名は北漢山遠乘會を催す由にて出發は午前八時歸營は午後三時の豫定なり

●窪谷書記官の榮轉

窪谷內部書記官は今回內地の某縣警部長に榮轉する事となり此れが後任は某警察部長來任する事に內定し居れりと

●松井局長の出張

松井警務局長は次官代理中に於ける事務の整理結了次第東京に出張すべしといふ

●佛國少佐の訪問

佛國陸軍少佐ハロン氏は夫人同伴歸國の途次佛國領事の紹介により昨日午前十時副統監に會見せり氏は安東縣經由日露の古戰場を視察する由

●辭令（十四日附）

統監府書記官正七位 齋藤禮之
陞敍高等官五等、二級俸下賜

●本日の集會

▲矯風禁酒演說會 午后七時半より旭町二丁目名古屋城內に於て開催す辯士及び演題左の如し

假裝の春 五味勇之介氏
演題未定 渡邊竹四郞氏

公人私人

▲永井金次郞（富山縣事務官） 一昨日浦尾旅館

▲遠藤善十郞（度支部技師） 一昨日山本旅館投宿

▲大戶復三郞（岡山縣辯護士） 同上

▲古橋久三（大日本麥酒會社員） 一昨平壤に向ふ

▲中川唯一（營林廠事務官） 一昨日歸任

▲伊東四郞（憲兵大尉） 一昨日歸朝

▲鈴木穆（度支部司稅局長） 八日鄕里を出發近々歸任する由

▲神野法部書記官 東京にて開かるべき典獄會議に列席の爲め往復三十日間の豫定を以て昨朝出發せり

近事片々

▲曾禰 副統監は釜山を經て北韓沿岸視察の途に上るとの事なるが最も恰好の思付也

▲望む らくは單に沿岸のみならず元山以北人烟稀少の地をも觀よ必ず得る所あらん

▲殊に 淸津を起點とする北韓鐵道布設の要を見よ併て北韓開拓の要をも解すべき也

▲上海 より歸來せる閔泳瓚は一族の頭領閔泳徽と供に近々渡日するとの事は事實乎

▲而も 東京に朱乘暖を訪ふて何事か献ずる爲也との說あり果して何事を献ずる者乎

▲閔族 が昔の榮華を今尙夢見て樞府もあらば盛返さんとするも最早到底ダメならむ

▲韓美 電鐵の賣却說は段々事實らしくなり來れるが果して藤田大倉等買收する者乎

▲之が 爲に高留佛蘭氏東上せりと云ふ矢張り例の一派により畫策せられたる者にや

▲價格 さへ折合へば日本人の手に取る方が總てに於て便宜也水道も勿論同一なる乎

▲淸國 外交は中々日本の及ぶ所でなく其弱味に付込み飽迄追及するが如きは皮肉也

▲日本 との懸案問題を仲裁々判に附せんとし或は巧に責任を避るが如き極て巧妙也

▲小村 外相近來對淸策に持あぐみて暫く据置など弱音を漏し來るとは頗る卑怯也

▲壽太 郞伯も最初の意氣込に似氣なく兎角に振はざるは豈夫老い込みたるにも非じ

▲日英 同盟廢棄說墺國外務省の機關新聞に現はる獨逸筋の皮肉策とは或は然らん也

▲獨逸 の外交は往々意外の處に鋒先現はる眞に變幻出沒自在也而も極て皮肉に出づ

▲宰相 ビユローはビスマルク以來の偉人也と云ふが其辛辣なる手腕は僅に現代の雄

▲伯林 駐剳の大使には最も有爲の人格を要す然らざれば常に小兒の如く翻弄せらる

▲露國 はウィッテ伯を起して外相と爲す說あり然らばイッヅオルスキーに優る萬々也

▲ウ伯 とビ侯は能き取組也ビ侯に逢ふてはウ伯或は引を取らむ小結と大關の差あり

●琺人道主事任命

本年度より各道に任命せらるゝ日本人主事の中學務擔任者七名は昨日任命さる

[illegible]額の少きは當然なるが總額一萬三千三百十[illegible]四圓三十[illegible]の如し

收入 [illegible]
支出 [illegible]

●漢城妓生の義捐金

漢城府內の妓生一同は咸南文川郡の飢饉地救恤の爲め過般西[illegible]地に送付すべしと

●南義州識航行開始

[illegible]會社は南義州間に石油發動機船の航行を[illegible]去る十一日[illegible]

●大韓民會[illegible]

[illegible]官及實業家を招待すべしといふ

[illegible]ては曩に本年度新入生募集の處應募者千三[illegible]

[illegible]に充て直ちに起工に着手する筈

…せらるゝ日本人主事の中學務擔任者七名 木學務擔任者三名は昨日任命さる

●元山三月の關稅額 三月中に於ける元山の關稅額は一般貿易の不振につれ其少くて四圓三十七錢にして内譯左の如し

輸出稅	一、五〇三、一七
輸入稅	一、〇七五、六八
噸稅	四五二、五〇
雜收入	二八三、〇二

●玉子嬢の初戀(一)

天に在りては星となり地に在りては花となり人に在りては戀となる實に美るはしきは戀なり危など今更年甲斐もなう現を拔かして殊更らに詩人振る程の記者でもないがさりとて年若い男とんなが胸板三寸の奥の裏に戀といふ字を秘め置きながら表面は紀伊の香無川、波立つ思ひをじつと堪へて殊勝にようふ有様を見ては満更いぢらしいと思はぬでもないから开處はざこまでもれ手やはらかに筆の穂先の曲らぬ限りは同情を以て書く事とせう

京城は民團役所の附近に上村といふ小奇麗な二階家がある玉子は其家の一人娘で色の白い面長の眼の涼しい何處と點の打ち處もない今年十八歳の美人であるが去年の今頃までは故郷の熊本に殘つて同地の成溪女學校に通學して居たのを若い年頃の處女が唯一人で他郷にあるのは險呑だといふので後一年丈けで卒業といふ處を無理矢理に京城の方に呼び寄せたのであつた、が春風に吹かるゝ花の蕾は何時まで開かないで置くものか開いた花の香ばしい花粉は何時まで飛ばずに居るものか、玉子とても矢張り人の子である何程親の手許にあつて嚴格な監督を受けるとしても浮世の風に吹かされては何時まで或る物の渇を覺ゑずに居られるものか果然彼女は或る物を捉へた、或る物とは何であるか、或る物とは理想の人である戀人である、それは何時の頃であつたらう彼女は不圖した處で或人と會つた、余り多くの言葉も交はさなかつたが其人の言葉から容姿何どなう懐しく何どなう忘れ難くそれからといふもの玉子の胸は怪しうも亂れそめて唯だかりそめの徒ら書きにも、藤樣と書いたり虎雄樣と書いたりあけても暮れてもその事ばかり積もり積もつて名工の鑿より鮮やかな印象は玉子の胸の奥深くも刻まれたのである

●韓童の排日思想

▲負ふた子は殺して了へ 素より頑是なき小供の事とて別に深く止むる迄の事にもあらずと言はゞ夫れ迄なれど小供なればこそ聊か險呑にも思はるゝなり聞けば昨今京城市中に於て日本人方に雇はれ居る子守の韓童を捉らへて『日本人の子供なぞ背中に負ぶつて何うするか貴樣は恰かも敵を背中に負ぶつてるやうなものだ今のうちにそんな子供は殺ろして仕舞はぬとそれ等が大きくなつたら我々の命を取るやうな事がないとも限らぬ』等使嗾する韓童ある由誠に度し難き奴共也

●六人組の強盗

▲京城の眞中に現はる 昨日午前一時頃銅峴分所管内光熙門内明哲坊東山里五十統十五戸韓尹業方に六名の強盗押入り各短銃又は軍刀を以て家人を脅迫して物品五十餘點此代價約九十二圓及び現金四圓二十錢を強奪して逃走したる旨訴へに依り同分所にては直ちに八方に手配りし今尙ほ捜索中なり

●肴屋の毆打犯

兵庫縣平民當時京城本町七丁目三十五番戸酒商岩原瀬市(四十)和歌山縣平民當時本町七丁目魚商北島新三郎(四十)の兩人は、頃懇意の間柄なるが岩原が北島の前身を惡口したりとかにて北島は一昨日午後九時三十分頃岩原を自宅に呼び寄せ一口二口爭論の末北島は岩原の顏部其他數ケ所を毆打し岩原の左眼周圍に打撲傷を負はせ疾病休業十日に至らしめたる騷ぎに北島は南部署に拘引され取調の末昨日檢事局へ送らるゝ因に北島は前科三犯を有する惡漢なりと

▲實驗色慾の抑制法▼

(衞生新報一等當選)

(一)若い婦女子に出來るだけ接近且つ見ざる樣務むる事
(二)規則的の生活を務むる事
(三)寢床に入れば早く眠る事を務むる事
(四)目がさめたら直ぐ起床する事
(五)暇の許す限り運動を務むる事
(六)室内に居る時は戸障子を成るべく開いて一室に籠らぬ事
(七)小說は讀まん樣にして修養になる書を讀む事

但し最初から皆一度に實行しやうと思つたら必ず不結果を得ますから氣長に漸々と行ふて行くのです

●親の不注意

京城旭町一丁目日雇業松井鶴吉(三十八)妻すゑの兩人は一昨日午後十一時頃長男芳國(五つ)二男吉之助(三つ)の兩人を溫突内に寢させたる儘理事廳前の露店に出稼中小兒の枕邊に置きたるランプを長男の芳國が轉覆せしめたる爲め火は忽ち四壁に燃へ移りしを隣家の竹内忠種が悲鳴を聞き駈付けて消止めたるも二男吉之助は兩足股以下全部に火傷をなし直ちに安東病院に收容したりと

●解雇されたが開わぬ

仁川居住の韓人李中牢(三十)と云ふは以前同地新町仁川湯に雇れ居たるものなるが過日解雇せられたるよりそれを恨みに思ひ一昨日午後七時頃泥醉して仁川湯に乘り込み雇韓人三名を毆打し亂暴を働きたるより宮町巡査の爲めに引致され昨朝覺醉の上說諭を受けて放還せらる

同は咸南文川郡の飢饉地救恤の爲め過般西門内圓覺社に於て慈善演藝會を催し其純益金二百圓を内部の手を經て同地に寄贈すべき旨願出でたるに依り内部は不日之れを同…

●南義州汽航開始 去る十一日より鎭南浦義州間に石油發動汽船の航行を開始し執り

●工業傳習所の近況 官立工業傳習所に…百餘名の多きに達し四月一日より七日迄選拔試驗を行ひ內百名に入學を許可し去る十二日より新學期を開始したりと尙ほ第一回卒業式は來る二十日擧行の筈にて…

●大韓民…行より金四千五…可申請中の所右は…認可あり民…

●怪しき男は?印

當地明治町三丁目百七十七番戸勝本駒吉方小池虎吉(四十)は去る十四日午前九時三十分頃本町筋を徘徊し居たるを岡町派出所巡査が其不審なる擧動を認め取調べたる處全く精神病者なる事判明せしかば右駒吉方に連れ行き保護を命じたるが同人は當日家内の不在中裏口より拔け出でたるものなりと

●酌婦の僞名

仁川京町二丁目吉田すて方の酌婦海原せき(二十)は本月一日梅原なみなる名義にて鑑札を受けたること此頃發覺し一昨日仁川署にて科料一圓に處せらる

●親類筋に御注進

仁川敷島樓内敷島樓本店奴は實母病氣のため一昨日歸國したとのこと

▲巷〳〵さ〳〵

▲危險 去る十四日午後八時頃新町三丁目飲食店江戸松方烟筒より火の氣を吹き出し居るを新町派出所の巡査が認め直ちに同家に至り注意を與へたるが平素煙筒掃除不充分の爲め危險に至りたる者なりしを以てれ目玉を頂戴す▲喧嘩 漢城衛生會人夫長小林秋三郎(二十)清國人衛生人夫劉自海(二十)の兩人は去る十四日午後三時頃小林が部下人夫同樣劉を指揮したりとて劉は大に憤り小林に打つて掛り茲に立廻りを初めたるも警官出張し双方を說諭して事濟み▲犬に咬まる 廣島縣平民當時大和町二丁目寅之助長男久田武夫(十二)は去る十三日午後七時頃本町七丁目に於て遊戲中何處よりか茶色の犬現はれ右脚に咬み付き逃走したるを以て武夫は直に贊化病院に收容治療を受く

演藝界

▲樂友會音樂會 京城樂友會第八回音樂會は來る十七、十八の兩日間午後七時半より三好町歌舞伎座に於て開催する由尙ほ入場料は特劵二圓白劵一圓青劵五十錢の三種にして當日會場前に於ても販賣すとなり

▲五雲會能仕舞 來る十八日午後一時より本願寺別院に於て開催する五雲會仕舞の順序は「春日龍神」「正尊」「杜若」「櫻川」「小鍛冶」等なりといふ

▲壽座の誓り 壽座大坂淨瑠璃竹本一昇一座今夜の語物は左の如し

源平布引瀧四段目	小富士太夫
八陣八坂正清本城の段	團太朝
新薄三段夜光玉の段	定太夫
佐倉宗五郎四段目	柳美太夫
奥州秀衡三段目	梶登太夫
御所櫻三段辨慶上使	一昇

●花柳巷談 似合の花較べ(六)

伊豫之守

▲花奴と政菊 京城の藝妓中一番背の高いは花月の花奴君ならんと存候、年はまだ十八九の蕾の花、雪をも欺く白き皮膚と楊柳の風に惱めるが如き容姿は慥かに花月中の尤物に御座候、併し同君の顏を一々分解すると眼尻の下つた口元の締りなき鼻柱の曲つた頭髮の稍々赤き餘り上等の道具揃には無之候得共是れが頗る巧く配列されし爲め意外の美人と相成りし者と存候、藝術に至つては未成品と申す可く何事にも上達せし者はなけれど、さりとて決して無藝には無之踊りも三味線も相當に心得を有し近來は長唄も中々熱心に稽古致し居候、性質は頗る正直なる方にてまだ〳〵稚氣を離れざる可愛い奴に候、其處がヒヒ公閣下に愛せられたる處かと存候、政菊君は此程淸華亭に現はれたる美形にして未だ多くを知られざれど年恰好、人相等略ぼ花奴君に相似寄り居れるが用捨なく言へば代物は花君の方聊か優り居り候、政君は曾て神戸中檢で玉菊と名乘り居候由玉菊は今少し太り居たりと承知せしが頗ひばし玉ひしか稍々見違へたるやの感あるも果して眞の玉菊なりせば中々年少にても頗る付きの豪の者にて手練手管の妙術はサテ置き座に於ても踊り唄何れも凡を拔き殊に其美聲は類の少なき方に候が眞否は追て判明せん次ははん太と政子

●韓語獨習

日語	韓語
仁川より京城迄は何里ですか	インチヨンソー、ソーウーリ、ミヨンニヨ
渡船がありますか	ナールー、バイカー、イスムニツカ
敷變あります	チヨーラー、チヨギイイツチヨ
大川に橋は無いですか	カンエ、タリカ、アンノヨツソ
橋はありません	ターリー、カ、オフソ
彼の山に、登て見よ	クサンエー、オル、ナーボシヨ

◀平民文庫▶

▲電頭よ餘り人を馬鹿にする勿れ中傷する勿れ呪ふ勿れ君は何の遺恨ありて僕を驅逐せんとするか(一花に嵐生)▲惡か狂か吾れ吾れを知らず惡と狂と人生に慰藉を齎らす腦を裂いて惡とならんか毒を仰いで狂となるらんか开はあまりに弱々しきを奈何せん(孤獨子)▲どなたか尺八を敎へて下さる方はありませんか知ら(寂寥坊)▲世の中に何が俗惡だと云つても肩上げの取れた人間が軍歌などを歌つて無邪氣だと云つてる位ひ見苦るしいものはない(諷刺生)▲南大門通から理事廳への曲り角に建てゝある電信柱は往來へ向けて出張つた電線が引いてあるので夜間などは通行人の邪魔になる事が夥しいあれ何とか工風して貰ひたいものだ(迷惑子)▲大阪の爆發事件に鑑みて當地に於ける火藥取締も嚴重になるだらうイヤ爲ねばならぬと思ふ(杞憂子)▲又々京城監獄の破獄脈だ〳〵しもだが謀殺未遂犯人や內亂罪人だからまでで逃しになつては危險千萬だよ濟みませんけれども少し取締りなさつて下さいホントに無理を申して濟みませんけど(ヨボ)▲ソロ〳〵花見季に入りましたれ互ひに暇のある度びドシ〳〵遊ばうでは御座らぬか(本町森本生)▲御同役御同感で御座る(小僧)▲私は西門外に住ねして居る女の童ですが妾の宅の庭園の桃はモウ此の樣になりました見事でしよう他さまのも此度同じでせうと思ひます此の次の日曜あたりにはれ出かけなさいませ(西門外女)▲貴女は隨分ツルイ處も知らせずに遊びに來いと云つたり好きな事を仰言る離れにでも判る樣に處をれ知らせなさい(係り)▲妾の處の桃は貴女の所の位になつてよ(美代女)▲同じ樣なことを云つて居ますね併し此の方が文と書いて面白い美代さん文を書くのに此の呼吸を忘れない樣にね(編輯の叔父さん)

●天氣豫報(自十五日午後六時 至十六日午後六時)
西の風 晴
十四日 最高溫度 六三、五 最低溫度 四五、一 (華氏)

廣告

無烟煤炭
新案特許 家庭用燃料
●用途 煉炭、暖爐、竈用に適す
●省煉炭所東隣
谷口無烟煤炭工場
京城特約店 電話六〇三番 巴商會
二丁目

▲無料紹介欄▼

人事部

下女至急入用 廿四五歳より四十歳位迄給料十圓まで 氏名在社(二一八)
女中入用 裁縫の心得ある者廿五歳以上の婦人を望む 旭町一の六十 旭町競賣所(二二〇)
清語通譯希望 當初給料望まず 氏名在社(二二一)
一年齢二十歳身体强壯高等小學校卒業家内の少き内に於て餘暇裁縫教授を受くべき家に下女奉公を望む 旭町一の三二九 まちだ(二二三)
被雇希望 甲種商業學校出身一年志願兵現役終了給料不望個人商店を望む身元確實 姓名在社(二二二)

物件部

電話貸したし 氏名在社(二二三)
電話買りたし 氏名在社(二二四)
電話格安に讓りたし 社内 中村
床屋讓渡したし 氏名在社(二二二)

廣告

開店五週年に付大賣出し
謹啓陳者時下陽春の候各位益々御清榮奉大賀候降て弊店儀開店以來茲に五ケ年に相當し其の間大方諸賢の御愛顧により日に月に繁榮に赴き候段難有奉謝候就ては平素の御眷顧に酬へんが爲め
三月廿五日より四月廿四日迄滿一ケ月間二割引の減價を以て販賣仕候間何卒多少に不拘御用命仰付下され度偏に奉希上候

美術書畫
襖、壁、天井張
京城壽町一丁目
桂萬吉

眼科 内科 外科 (入院 隨意)
電話六七五番
南山町二丁目 植村病院跡
松岡醫院

電話開通
千百二十七番
二十錢均一にして毎夜無休
午後六時迄に御越の御方に限り十五錢雨天は半額
京城座

電話開通
千百五十二番
和洋紙文房具 諸帳簿諸印刷
京城本町一丁目
北内商店

假營業所廣告
弊店儀今般改築に着手致候間普請中筋向へ林田交換所内に於て假營業仕候間不相變御愛顧御用命の程奉冀上候
追て電話六十五番を當分使用致候
各國時計並に美術品商
京城本町二丁目
田中時計店

石炭直輸入卸小賣
●精撰塊炭 ●上等塊炭(海軍御用炭)
●荒塊炭 ●切込炭(鐵道御用炭)
弊店の石炭は自巳炭鑛よりの直輸入なるを以て品質一定斤量正確にして價格低廉に候目下多量之貯炭有之候間續々御用命被下度奉願候
赤阪口福母炭坑賣炭部
合名會社範多商會韓國代理店
大阪鐵工所韓國代理店
韓國京城南大門西側(電話長八二九番)
合資會社長醫商會韓國出張所
仁川濱町一丁目(電話長八三三番)
合資會社長醫商會仁川出張所

請負 印入 並に提灯類
和洋蠟燭あり
京城明治町一丁目
大島商店

醇良清酒
澤龜
大阪府堺市
合名會社醸

風味趣味價質の三者を兼備す
正銘宇治茶京都の茶器
故に尤も進物用に適當なり
茶及茶器商
京城本町四丁目
青々園茶舖

貨物運送取扱 税關貨物取扱 貨物引換證發行
危險擔保附運送 品代金付貨物運送
内國通運株式會社
京城支店 京城南大門驛前 電話七〇八番
仁川出張所 仁川驛前 電話五一二番
釜山出張所 草梁驛前 釜山驛前 電話六一六番 草梁驛前 電話五三七番
龍山派出所 龍山驛構内 電話二〇六番

直輸入
リノリーム各種
リノリ油類
右到着仕候間御用命下され度候
京城支那領事館通り
清韓洋行
(電話四九四番)

春の日の何となく長閑に相成申候折から野邊の散歩や遊山の心地よさ殊に興味の多き此頃なれば皆々樣方の御便利を圖り風味佳良は勿論大勉强致し候間何卒御贔負の程祈り候

すし、うなぎ
御料理、山遊折詰
町一丁目
松善

弊店は日本の製靴業の元祖なる弊店の靴は悉皆自家製にして仕入品は一切販賣せず
一堅牢持久は世の知る所外に類なし 價格は品により他の比に非ず最も品質佳良
深紙上に深でむ靴定價金五圓以内外及革の種類と靴形は御好み次第のと定價表と足形寸法書は御申越次第
鈴木製靴店
電話本局千七百三十二番
右外今回發賣するボーブス革(海獸の皮)價金四圓より金五圓は防水防寒如何なる强雨にも決して滲透せず耐久比類なし

龍山萬長旅館
東山の手柳町
電話四〇〇番

東京火災保險株式會社
明治廿年七月創立
資本金一千萬圓
京城代辦店 本町四 山口呉服店 電話九番
事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

●廢物利用●
一金口莨空箱買入れ申候
但百本入に限る
上等金口トルコ莨發賣所
京城本町四丁目
パ子リス商會

特約販賣自製
漬物 味噌 醬油 製造元
京城本町五丁目
大上商店
(電話二三五番)

和洋酒、の精耐、穀物麵類銘茶、罐詰、乾物菓物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛各種特約販賣
尚御望に依り商品切手調進仕候

▲清潔下宿▼
客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間陋屋ながら御投宿の程御願申上候
壽町二丁目十番地 小路(元花屋跡)
▲懇切の下宿▼
かめ屋

銘茶和小賣
篤志屋茶舖

○建築業
京城本町七丁目別府路
中川卯之助
電話六九一
○多年の經驗にて建築の完全を期し料金は便宜御相談可申候也

日本郵船株式會社
瀛船仁川出帆廣告
貨物及船客取扱店
仁川海岸通
郡回漕店
電話三九番

大連行(船客御用)
新潟丸 日正午時出
釜山長崎門司神戸行
山東丸 五月 九日午後三時出
大連、太沽、牛莊行
高砂丸 四月 廿二日正午時出
大連、大沽、牛莊行
田城丸 四月二十七日前五時出
大連、大沽、牛莊行
酒田丸 五月 十三日正午出
釜山出帆、元山、滿津、浦潮行
神丸 四月二十八日
乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄送迎船ニア御送リ可申候滿潮ノ際ハ出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

▲一枚金二錢▲一ヶ月前金廿五錢▲三ヶ月
▲五號活字十九字詰一行一回四十錢▲三回
發行兼編輯人 秋山三郎
印刷人 高木久馬
發行所 京城新報社